

氏 名：前橋 裕貴
派遣元：群馬県 前橋市
派遣期間：H29.4.1～H29.6.30
所 属：地方・訓練担当

私がお世話になった地方・訓練担当の訓練ラインは、内閣府防災担当が主催する図上訓練等の企画、運営を主たる業務としていました。研修期間中に私が担当した主な業務は2つで、訓練高度化検討分科会の開催調整・運営と、南海トラフ地震を想定した緊急災害対策本部事務局委員図上訓練の企画・運営でした。特に、後者の業務では、訓練想定を検討する段階から実際に訓練を実施するまでの一連の流れを経験することができ、ゼロから訓練をつくり上げるノウハウを学ぶことができました。

研修期間中は、このほかにも様々な経験をさせていただき、また、多くの人たちとの出会いがありました。3か月間で得たものすべてが、私の貴重な財産となりました。

氏 名：波多野 敬
派遣元：神奈川県 座間市
派遣期間：H29.4.1～H29.6.30
所 属：地方・訓練担当

私は、主に『中部緊急災害現地対策本部運営訓練』の業務に携わらせていただきました。関係省庁や地方公共団体と連携した本番さながらの訓練を目の当たりにし、非常に貴重な経験ができました。

訓練や講義、研修をとおして国の防災施策や対応等、多くのことを学ぶことができました。適切、迅速な災害対応をするためには、様々な機関の連携なくしては出来ないことを強く感じ、普段から顔の見える関係を構築することが重要だと改めて認識出来ました。

研修をとおして様々な方と持つことが出来たこの『つながり』を市に持ち帰り、今後の市の業務に活かしたいと思います。

氏 名：織田 倫子
派遣元：埼玉県 戸田市
派遣期間：H29.4.1～H29.6.30
所 属：事業推進担当

実際に内閣府の一員として、検討会の事務局や被災地との意見交換会、国会との調整の立ち合いなどに携わらせていただき、貴重な経験をすることが出来ました。

内閣府での業務は、スピード感・正確さともに高い水準が求められますが、その中で、調査の方法や資料作成のスキルを磨くことが出来ました。

また、戸田市に戻ってきてからは、事業推進で携わっていた被害認定調査について、市の制度の見直しを行っており、その際に、内閣府で培った人脈やスキルを活かす事が出来、非常に実践的で有意義な研修であったと感じております。

今後も研修を通じて学んだことを活かし、市の防災行政に貢献出来るよう、業務に邁進していきたいと考えております。

氏 名：武山 壯
派遣元：宮城県 石巻市
派遣期間：H29.7.1～H29.9.30
所 属：地方・訓練担当

訓練＝避難訓練程度の知識の中、地方訓練室に3か月間お世話になりました。訓練を実施するまで検討会の開催から始まり、1巡目・2巡目レクなど、事務プロセスが多いため限られた時間で成し遂げる難しさを経験できました。今回の経験を踏まえ、発災直後は迅速な体制を構築するため、関係機関と連携する自治体職員への訓練の充実を図ることが重要であると痛感いたしました。

最後に、内閣府防災の皆様のおかげで何とか3か月間の研修を終えることができたと感じております。私にとって国の中核で仕事ができる経験は何事にも代えがたい財産です。

氏 名：片岸 義幸

派遣元：宮城県 石巻地区広域行政事務組合

派遣期間：H29.7.1～H29.9.30

所 属：地方・訓練担当

どのような研修をうけるのか期待を大きく持ち、研修に参加させていただきました。

私は、消防という職務から災害現場対応にかかる業務を主とし、さらに消防に係る防災業務も行っていました。

OJT 研修に参加し、内閣府の防災業務の範囲の広さを感じました。多岐にわたり様々な防災業務を行っており、その一つ一つに我々の防災行政がどのように関わっていたのかが理解できました。

また、九州北部豪雨被災地派遣、近畿現地対策本部運営訓練等の業務に携わらせていただき、国がどのような災害対応を行うのか、どのような情報を求めているのか等、大変勉強になりました。

本研修期間中、防災に関わる多くの方々と交流を持つことができた事も、大きな財産であると感じており、今後の消防行政、防災業務の様々な場面において活かしていければと考えております。

氏 名：宇都木 明

派遣元：茨城県 境町

派遣期間：H29.10.1～H29.12.31

所 属：地方・訓練担当

私は、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨災害を経験し、災害に対応できる知識とスキルの足りなさを痛感しました。そこで今回 9 月より 3 カ月茨城県境町から派遣され、地方訓練室で研修させていただきました。訓練担当として、四国緊急災害現地対策本部運営訓練、東京緊急災害現地対策本部運営訓練に携わり、災害対応には日頃より様々な関係機関との連携が重要であり、多様なニーズに柔軟に対応するうえで必要であることを学びました。また、防災とは発災後の応急対応がすべてではなく、日頃の備えの部分に比重が大きいことを知りました。

今後は今回の研修で得た知識とネットワークを生かし、業務に取り組みたいと思います。

氏 名：小澤 一輝

派遣元：神奈川県 中井町

派遣期間：H29.10.1～H29.12.31

所 属：地方・訓練担当

私は平成 29 年 10 月から 12 月までの 3 ヶ月間、地方・訓練担当でお世話になりました。11 月と 1 月に予定されていた緊急災害対策本部事務局要員図上訓練について、訓練の計画に携わらせていただいたことで、今後様々な訓練などを計画する際に役に立つ視点を学ぶことができ、通常業務においても情報共有の大切さなどを再認識しました。

また、有明の丘研修などの場においては、様々な立場の防災関係者と知り合うことができました。

こうした学びや出会いを、町の防災体制の強化や自身のスキルアップに活かしてまいりたいと思います。

氏 名：平松 佑一

派遣元：神奈川県 平塚市

派遣期間：H30.1.1～H30.3.31

所 属：地方・訓練担当

内閣府の OJT 研修は、実務研修と教育プログラムの両方が充実していました。第 4 四半期は教育プログラムが充実しており、有明の丘で行われる防災スペシャリスト養成研修は全 10 コース (20 日間) を受講することができ、防災の基礎から応用まで学習することができました。また、研修後には全国各地から参加されている方々とそれぞれの地域の現状や取り組み等について意見交換をすることもできました。実務研修では、政府の緊急災害対策本部運営訓練や防災担当大臣の熊本地震現地随行、防災イベントの講師派遣等、貴重な経験をさせていただきました。今回の研修で防災に関する知識の習得と全国各地に人的ネットワークを構築することができました。

氏 名：新野 真弘

派遣元：神奈川県 大磯町

派遣期間：H30.1.1～H30.3.31

所 属：防災計画担当

平成 30 年 1 月から 3 月までの 3 か月間、防災計画担当において業務に携わらせていただきました。

研修中は、大分県の市町村 BCP 策定研修会に参加させていただき、BCP の策定及び受援計画の策定について、様々な重要点や留意点、大分県の市町村職員の防災の取組や考えについて勉強させていただきました。また、国立研究開発法人防災科学技術研究所、立川災害対策本部予備施設や災害医療センター（DMAT 事務局）の施設見学の他、有明の丘の研修や関係省庁の講義等を通じ、災害の備えから応急復旧までの様々な流れのなかで、多方面の防災を学ぶことができました。本研修で得た経験はどの部署にいても、災害時には防災に携わる町職員として、今後の防災行政に活かしていきたいと思えます。

※平成 30 年 4 月 25 日、派遣元の誤記を修正しました。

氏 名：新井 亮平

派遣元：埼玉県 和光市

派遣期間：H30.1.1～H30.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は所属先の埼玉県・和光市役所職員として初の派遣ということで、当初はとても緊張していたように思います。今まで防災部局に所属していた経験もないため、本当に右も左もわからない状態でした。そのような中で同じ担当の方々に本当に良くして頂いたと感じています。

研修早々の政府図上訓練では国としての大規模な訓練に圧倒され、普段立ち入れない幾つもの施設の見学も行えました。また仕事の取り組み方や姿勢についても市役所とは違いとても刺激を受けました。

そうした貴重な経験を通して、国と地方自治体の関係が地続きで感じられた 3 箇月間でした。この 3 箇月が一生の財産になると思っています。